

結核

(二類感染症)



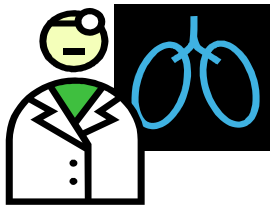
日本の重大な感染症

再興感染症

結核は明治時代から昭和20年代までに永い間「国民病」と恐れられていました。現代では薬を飲めば完治できる時代になりましたが、昔の病気ではありません。今でも1年間に全国で約1万数千人、福岡県で約1000人の患者が発生し続けています。

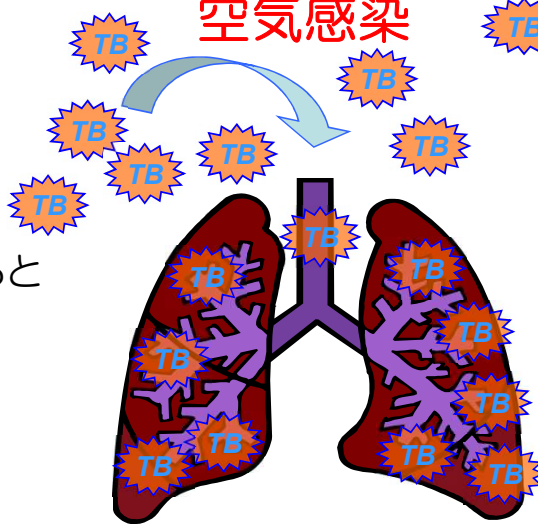


結核菌が肺胞に達すると増殖が始まる



空気感染

TB = 結核菌



培養された結核菌



結核対策の一役を担います

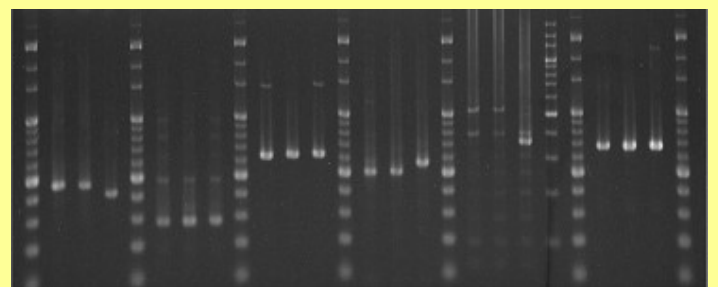
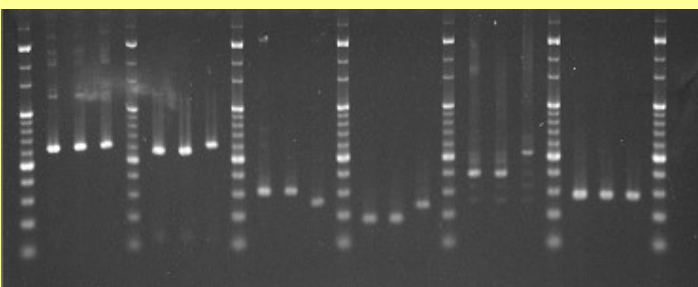
結核菌病原体
サーベイランス

福岡市では、集団感染事例への対応や分子疫学的な観点から結核発生動向を把握するため、平成28年10月より

「結核菌のサーベイランス事業」を開始しました。

結核患者が発生した時には、感染経路の探索などの疫学調査と同時に、患者から分離された結核菌が当所に搬入され、疫学的な関連性を調べるため遺伝子レベルでの解析を行います。

VNTR(Variable Numbers of Tandem Repeats): 反復配列多型分析



VNTR法におけるPCR産物の電気泳動像